



## ■ 阿南市文化祭 出品作品の募集

第46回阿南市文化祭が、10月19日(木)～11月12日(日)に開催されます。短歌大会(10月28日(土))、俳句大会(10月29日(日))、美術展(11月3日(祝)～5日(日))の作品を募集。  
**俳句・短歌作品** (未発表のものに限ります)  
**出品点数** ・俳句…当季(秋)雑詠2句 ・短歌…1首  
**出品方法** はがきに住所、氏名、電話番号を明記のうえ、俳句・短歌ともに9月8日(金)までに、文化振興課〔俳句係〕または〔短歌係〕までお送りください。  
**送付先・問い合わせ** 〒774-8501 富岡町トノ町12番地3 文化振興課 ☎22-1798 へ  
**美術展作品**  
**出品資格** 市内在住または出身で、市と関係の深い方。(ただし小・中学生は出品できません)  
**作品の規格** 額装には、ガラスを用いないこと。  
**■日本画**…6号～50号で、額装か表装(アクリル板も不可)  
**■洋画**…6号～50号で、額装(50号は縦額のみ)  
**■書道**…半切以下で表装か軸仕立て(縦額のみ)  
**■写真**…単写真、組写真とも半切およびA3から全倍サイズ画面の長辺は40cm以上90cm以内  
 スクエアサイズ(正方形)は一辺が30cm以上50cm以内  
 組写真は1パネル(縦180cm×横90cm以内)に全作品を縦に固定  
**■彫塑・工芸・デザイン**…1m×1.5m未満、高さ1mまでで、展示にふさわしいように仕立てること。  
**出品点数** 原則1人1点(ただし、写真、彫塑・工芸・デザインは2点まで可)  
**会費・出品料** 市の美術協会会員は不要。初めて出品される方は、会費と入会金の併せて2,500円が必要です。  
**作品の受付・搬入場所と日時** 文化会館 研修室  
 10月29日(日) 9:30～12:00  
**問い合わせ** 文化振興課 ☎22-1798 へ

## ■ 講演会「長国の埋蔵文化財」 長国の信仰(古代)in阿南

阿南市の「立善庵寺跡」をはじめとする、徳島県内の代表的な古代寺院跡の発掘調査事例を報告します。  
**日時** 9月18日(月) 13:30～  
**場所** 文化会館 視聴覚室  
**講師** 吉野川市教育委員会 井形玲美さん  
 美馬市教育委員会 小島靖彦さんほか  
**展示会** 文化会館1階ラウンジにて展示会を開催中ですので、あわせてご覧ください。  
**問い合わせ** 文化振興課 ☎22-1798 へ

## ■ あなんオータムコンサート 「自衛隊音楽隊演奏会」入場整理券配布

**日時** 9月24日(日) 14:00開演(13:30開場)  
**場所** コスモホール(情報文化センター)  
**入場整理券配布開始日** 9月1日(金)  
**入場整理券配布場所** 情報文化センター、文化会館、市民会館、各支所、住民センターほか  
**問い合わせ** 文化会館「あなんオータムコンサート」係 ☎23-5599 へ

## ■ ホワイエコンサート「浅田侑子 ギターソロ」

夢ホールのホワイエで土曜の午後のひと時を音楽とお茶でおくつろぎください。  
**日時** 9月16日(土)  
 14:00～14:45  
**場所** 夢ホール(文化会館)  
**出演** 浅田侑子  
**入場料** 500円(ワンドリンク付き) 仲良しチケット(2人以上:1人につき400円)は、前売りのみの取扱い。  
**問い合わせ** 文化会館「ホワイエコンサート」係 ☎23-5599 へ



## 阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯浅良幸

### 阿波の藩札(十九)

前回、「藩札の図象」について書いたが、字数の都合で記述できなかった点があるので付け加えたい。裏面下部に次の楮銘がある。

至置亦比古  
 今楮幣方刻  
 貨源滾滾焉  
 取利民富国

とある。蓄財と流通手段である貨幣の徳を称えたものである。特に富の字が隸書となっているのは面白い。

楮銘は網干屋以降、明治札に至るまで同一である。

### 両面札

この札の体裁は網干屋札と大体同じである。異なる点は表面中央部に六角印(亀)が押されていないことである。

裏面は三段に分かれており額面(金額)の表示が平仮名で書かれていることである。銀式ふんのごときである。表面には式分とある。

上部より中央部にかけて丸の鶴印が押されている。下部には網干屋札のように青印は押されていない。銘は網干屋札と同じである。

### 享保新札

表面は網干屋札と類似している。表面上部にある七福神は他の札と異なる。すなわち二分札は福祿寿、三分札は弁財天、五分札は寿老人。一匁札は毘沙門天である。同一の人物像であったも、板木の相違によって多少異なる点が見られる。これは人物像に限らず印章、文字等すべて同様である。特に文字の寸法の相違には著しいものが見られる。

上部に押してある小判形の朱印は鶴の朱印である。中央に押してある六角形亀の朱印の字と共に、「瑞祥」

を表したものである。中央上部にある宝玉は匁札には無く、五分札に五個、三分札に三個、二分札には二個ある。

一匁札には「瑞雲」が押されている。鍵、玉、鶴、亀、小槌、分銅、米俵は、縁起ものとして全国的な好みで使用された。

中央部左段の享保十五庚戌暦はこの銀札発行年号を表すものでなく、享保十五年銀札再発行が許されたもので、明治に入って発行が停止されるまで習慣的に使用された。

その理由として幕府に対する配慮から出たものと推察される。つまり、幕府の不許可処置をおそれるの措置に終わった宝暦以降は全く慣習によるものだった。

これは座本人の署名印も全く同様である。のちに座本人の廃止された後も、もとのまま魚屋、寺沢の名義を明治に至るまで、そのまま使用され続けた。

中央部右段の模様は金額によって異なっている。裏面は表面のように区分されていない。下部の楮銘欄以外はだいたい白紙である。

参考 湯浅良幸著「阿波貨幣史」(続く)

## 科学センター



ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>

### 宇宙の日記念 特別講演会&土星観望会

(無料・申込不要)

宇宙の日を記念して、講演会と見ごろとなっている土星の観望会を開催します。  
**日時** 9月23日(祝) 午後5時30分～8時  
**参加方法** 当日、開始時間までに科学センターにお越しください。講演会に参加された方には記念品を差し上げます。なお、悪天候の場合は、観望会のみ中止となります。  
**デジタルプラネタリウム(無料)**  
 毎週土、日、祝日の午後1時30分～、3時～実施。放映時間は約30分。  
**9月のテーマ** 「今夜の星空と太陽系外惑星のお話」

### 中秋の名月を観察しよう

(有料・申込不要)

科学センターの大型望遠鏡を使って、中秋の名月を観察します。なお、お持ちのスマホ、携帯で簡単に美しい月を撮影していただけるコーナーも特設します。  
**日時** 10月4日(水) 午後7時30分～9時  
**参加料** 大人300円、高校生250円、小中学生200円、幼児無料  
**参加方法** 当日、開始時間までに科学センターにお越しください。なお、悪天候の場合は中止となります。

### わくわく科学の広場(無料)

簡単に楽しい子ども向けの科学工作を中心に行います。どなたでも参加できます。  
**実施日とテーマ**  
 9月18日(祝) ストローアーチエリーを作ろう  
 9月23日(祝) 太陽の光で火をつけよう  
**実施時間** それぞれ午前10時～11時40分、午後1時30分～3時30分  
**参加方法** 当日、実施時間内に科学センターにお越しください。

### おもしろ科学実験(無料)

毎週土、日曜日の午前11時～、午後2時20分～実施しています。内容はお問い合わせください。

**問い合わせ** 科学センター  
 ☎42-1600 へ  
**9月の休館日**  
 4日(月)、11日(月)、19日(火)、25日(月)